

相川梨絵のバヌアツ通信

覚悟の移住婚！気分はもう現地人

突然ですが、「バヌアツ」ってご存じですか？
 アフリカの国？ 食べ物の名前？
 ささまざまな答えが返ってきそうですが、そんな昔が「？」と思う「バヌアツ」に嫁ぐことになりました。

バヌアツ。正式にはバヌアツ共和国。南太平洋に浮かぶ島国で、全部で83の島から構成されています。お隣は、「天国に一番近い島」として知られるニューカレドニア、菜園フィジー。オーストラリアやニューゼalandからも飛行機で3時間ほど。なんとなく、場所のイメージが湧いてきたでしょうか？

夜9時に「停電」

それでは、一体バヌアツってどんな国？
 海はきれいで一年中暖かくて、いわゆる南の島です。南の島での生活、うちやましー!!と思うかもしれないませんが、いざ移住となるとそれなりの覚悟が必要なんですよ。私の夫は日本人ですが、バヌアツで仕事をしているため、結婚＝バヌアツでの生活となります。しかも、ほぼ永住。

夫との出会いは、バヌアツ旅行でした。バヌアツには世界で一番近くまで行ける火山があつて、それが見たくて訪ねたのです。その島は、自家発電で夜9時になったら電気はいっさい止まってしまふ。夜は月明かりとろうそくで、やることがないから早く寝て、朝は鳥のさえずりで目が覚めるという自然とともに時間を過ごす生活。

期間限定の旅行なら、最高の場所です。しかし、一生そこで暮らすとなったら、話が違ふ!! 虫がいっぱいいる。食べ物は何？ 伝染病は何？ 衛生面は？ 仕事も辞めなければならぬ!! などなど。あげればきりがなくらい、懸念要素がたっぷり出てきます。プロポーズされ、飛び上がるほどうれしかったのですが、現地に暮らすという観点でもう一度バヌアツ

を見たいと返事を待ってもらいました。

そして、いざバヌアツ「視察」へ。まず、見たのが病院。ルーハエが飛んでいる。ここで出産は無理だな。日本で産もう。焼いて、クーケット。安いけど、おなか壊さないかな。レストランは、英仏共同統治時代のフランスの影響か、おいしい。これは合格！

そして、決め手となったのはスーパーマーケット。夫が働くホテルの近所に2店あったことで安心しましたが、不安が一気に吹き飛ばほどの品ぞろえに、「これならやっていけるー!!」と確信しました(笑)。

親善大使に任命

結婚を決意し、腹をくくってからはバヌアツ生活が楽しみで仕方がありません。サーフィンを始めようか、フランス料理を習おうかなど夢がいろいろ膨らみます。

また、ひよんなことから「バヌアツ親善大使」に任命され、日本人にバヌアツを知ってもらおうという使命にメラメラと燃えています。スポーツ新聞に掲載された記事の見出しは「相川アナ バヌアツ移住婚」。なんとインパクトのあるタイトルでしょう。皆さん、バヌアツ？ どこ？ と思ったようで、その日のYAHOO! 検索ランキングで「バヌアツ」が1位になったのです。そんな訳で、まさかのバヌアツ親善大使になってしまいました。

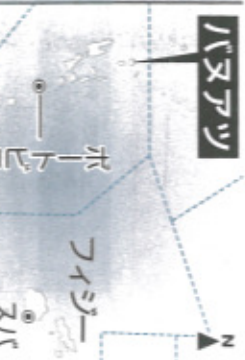
先日、バヌアツ観光局長自ら来日し、親善大使の就任式が行われました。民族衣装のアイラソッドレスと木彫りの証書をプレゼントされ、まだバヌアツ入りしていないのに、気分はすっかりバヌアツ人です。火山やジュゴンと泳げる海など自然の魅力はもろろん、人の優しき、バヌアツ生活のハブニソグなど、私が体験したことをどんどんご紹介していきますので、これからよろしくお願ひします。それでは、いよいよ、バヌアツに旅立ちます！



バヌアツの美しい海辺で魚を探す子供たち (立川彰撮影)



バヌアツ観光局長のリンダ・カルボイ親光局長(左)からバヌアツ親善大使に任命された相川梨絵さん



あいかわ・リエ 1977年東京生まれ、茨城育ち。横浜国立大学卒業後、2000年共同テレビ入社。フジテレビアナウンサー室に所属し、フジテレビアナウンサーとして「笑っていいとも!」をはじめバラエティ番組、情報番組などに出演。06年、フリーに。12年、結婚とともに引退。夫の仕事の関係でバヌアツ共和国に移住、「バヌアツ親善大使」に任命される。趣味は海外旅行。モットーは「楽しんでまなきや損!」

ブログ「相川梨絵のシヤララン劇場」でもバヌアツ生活を公開中。ameblo.jp/aikawa-rie/